

<基本的な考え方>

◆ 環境局は、本市の基本構想である「元気発進！北九州プラン」に掲げた「世界の環境首都」及び活気ある緑の産業都市を目指す「緑の成長戦略」の実現に向け中心的な役割を果たす。このため、「北九州市環境基本計画」に定める4つの柱に基づき、引き続き市民、団体、企業、研究機関、行政が一丸となった取組みを推進する。

一般会計要求総額

13,709百万円

(対前年度 +3.5%)

「市民環境力」の強化

環境ミュージアム改修事業	88百万円[環境学習課]
北九州環境みらい学習システム推進事業	23百万円[環境学習課]
ESD推進事業	20百万円[環境学習課]

「低炭素社会」づくり

北九州スマートコミュニティ創造事業	512百万円[環境未来都市推進室]
地球環境にやさしい「太陽光発電」・「屋上緑化」普及支援事業	173百万円[環境未来都市推進室]
地域エネルギー政策推進事業	20百万円[環境未来都市推進室]
アジア低炭素化センター関連事業	158百万円[環境国際戦略課]
北九州市中小企業省エネ設備導入促進事業	165百万円[環境未来都市推進室]

「循環型社会」づくり

古紙リサイクル推進事業	274百万円[循環社会推進課]
循環社会を形成するための環づくり支援事業	4百万円[循環社会推進課]
環境配慮型製品販売拡大・PR事業	11百万円[環境未来都市推進室]
レアメタル(リチウムイオン電池)リユースリサイクル拠点形成事業	10百万円[環境未来都市推進室]

「自然」との共生・「生活環境」の充実

響灘ビオトープ整備事業	99百万円[環境未来都市推進室]
電気自動車等導入及び充電インフラ整備助成事業	24百万円[環境未来都市推進室]
市民植樹・美しいまちづくり事業	13百万円[環境未来都市推進室]

低炭素社会の実現に向けて

北九州スマートコミュニティ創造事業

八幡東田地区で、最先端の技術を導入したスマートグリッドを構築。地域節電所やスマートメーターなどを活用した本格的な実証に着手するとともに、市民をはじめ、国内外へのPRを積極的に実施する。

512百万円[環境未来都市推進室]

アジアへ向けた環境ビジネスの展開

アジア低炭素化センター関連事業

市内中小企業等のアジア地域を中心とした環境ビジネス海外展開の支援や低炭素化に資する技術等の海外輸出に向けたモデルの構築など、アジア低炭素化センターを核とした環境ビジネス展開に取り組む。

158百万円[環境国際戦略課]

豊かな自然環境の確保

響灘ビオトープ整備事業

平成24年10月の正式オープンに向け、響灘地区環境学習資源の一つである、「自然の回復力」に視点を当てた日本最大級のビオトープの園内整備や展示物の制作などを行う。

99百万円[環境未来都市推進室]

未来へ向けた環境学習

ESD推進事業

国連など、世界規模で進められる「ESD(持続可能な開発のための教育)」を、北九州ESD協議会を中心に市民、NPO等と連携し、その成果を市内外に向けて発信していく。

20百万円[環境学習課]